

教えあいシステムに関するヒアリング 議事録

日時:平成 30 年 6 月 5 日(火) 13:45-14:04

場所:端末室 I

参加者:上田晋生、高濱阜史郎、村上颯人、藤田智子、梅本春輝

本議事録作成者:藤田智子

1. 作成するシステムについて

- 前回のヒアリングでは、助け合いを行い、報酬を渡す、受け取るシステムを考えていたが、今回のヒアリングでは専門性の高い質問・回答を行い、報酬を渡す、受け取るシステムを提案した。
- グループを作成する機能を持っており、同様の専門知識をもつ人同士での質問を行うことができる。また、実際のお金のやり取りについても考えている。

2. グループの作成方法について

- グループを作成する人がシステムの作成者である場合、その分野に詳しくなければグループを立ち上げることができない
- グループは必要とする個人のユーザが立ち上げることができるようにする。

3. コンセプトについて

- 誰でも参加することが可能であるため、参加のための敷居が低い。
- ただし、回答者に対する質問者からの評価、報酬があるため、煩雑な回答をすることはできず、質問、回答の質を高めることができる。

4. ポイントまたは仮想通貨について

- 新規性を考えるならば、仮想通貨を利用することはよい。
- 実現可能性について調査を行う必要がある。
- 入会時のボーナスポイント等の扱いをどうするのか(レートをかなり低くするなど)考える必要がある。
- 発表時にはマネーを使うことができていなくても、ほかの点でアピール点があればよい。
- ポイントはギフトカード等へ換金にするか、どうか。

5. 質問の方法について

- テキスト形式でやり取りを行う。

6. 知恵袋との差別化について

- 実際の金銭のやり取りや評価によって、質問・回答の質を高める。